



～自己改革への挑戦～

農家経営支援センターの取り組み



[8月27日] JA全中主催のJA営農・経済フォーラム（営農・経済事業改革を深化させるのが狙い）が福岡市で開催され、先進的に自己改革を進める西日本の4JAの取り組み発表が行われました。JA種子屋久から西村俊夫参事が「組合員に寄り添う事業展開を」と題した農家経営支援センターの取り組みについて発表しました。

複数部署に分かれていた農業経営の相談窓口を、「農家経営支援センター」に一本化し、**農家組合員に向けた、JA組織の最大の見える化が図られ、情報発信になったことを発表しました。**

農家経営支援強化

①農家の「声」を収集する活動の実施

- 各支所合計4カ所にTAG（総合渉外）を設置し「出向く体制」を整備
- 認定農業者や新規就農者を中心に訪問活動を展開

②農家の声の共有化とその対策検討の実施

- TAGが収集した意見・要望を管理台帳にまとめ、定例会（毎週）で共有化を図り、毎月開催されるサポート共同対策会議（TAG、各支所長、部門長の構成また中央会、各連合会も参画）にて、具体的に出された対応策について連携して取り組んでいる。四半期に1回、運営協議会で、常勤役員へ報告と組織内での情報共有を図る。

③多様化する農家に対応できる担当者の設置

- 大規模農家・法人担当を1名設置
 - ・労働力に応じた閑散期の品目組み合わせの提案や経営面での支援強化（今後の目標）
 - 農業基盤維持対策（集落営農組織の設立支援）、行政書士等との連携による法人設置支援



④行政等、関連機関との連携

- 行政と連携した担い手確保・育成対策強化
 - ・就農相談から定着までの支援や営農に係る研修等の対応、認定農業者の育成、現地での栽培管理支援



⑤農家経営支援事業による農家経営の高度化支援

- 生産・販売データを活用した生産販売カウンセリングの促進
 - ・生産販売カウンセリング品目拡大
- 青色申告会による記帳代行と経営支援の取り組み拡大
 - ・税務支援から一歩進んだ経営カウンセリングの促進



獅子座
7/23
～8/22

【全体運】 やや停滞気味。問題発生時には、周囲の意見に耳を傾けるとグッド。厄払いにリビングや寝室の掃除も有効です
 【健康運】 軽い運動にツキ。散歩や体操を楽しんで
 【幸運を呼ぶ食べ物】 シシャモ